



TAC 地方上級・国家一般職・総合本科生
A.T.さん(21 歳)

合格:徳島県大卒程度(行政事務)・国立大学法人(中国・四国地区事務)・徳島市
(病院局事務職)
内定:徳島県大卒程度(行政事務)

【面接・集団討論など二次・三次対策】

島野先生の面接対策には、できる限り全て参加すべきです。

復元シートを見たら、二次試験の流れや面接について詳しく知ることができるので、準備をする上でとても参考になりました。

島野先生は的確なアドバイスやフォローをしてくれるので、自分の自信へとつながります。

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. DVD・Web フォローの映像授業も、自分の好きなタイミングで見ることができること。
2. 面接対策が充実していること。
3. 面接・本試験情報復元シートが充実していて、たくさんの情報が得られたこと。

【TAC を選んだ理由】

自分の好きなタイミングでも学習できる映像授業と、徳島県庁の試験への情報量の多さで選びました。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

本格的に始めたのが10月頃からで、1日6時間以上勉強することを心がけていました。4月頃からは1日で8~10時間、できる日は12時間勉強しました。筆記試験対策として、授業を受けたらすぐにV問を解くようにしていました。そしてV問は、3~4周はこなしました。

【TACでおすすめの勉強方法や教材、効果的な学習】

とにかくたくさんV問を解くことです。

教養は文章理解と数的処理だけ解いていましたが、専門は得意・不得意関係なく、まんべんなく解くようにしました。

間違えた問題や重要な公式をまとめたノートを作り、試験前に見返せるようにしていました。

【受験動機】

親戚に徳島県職員がいて、その人たちの話を聞いたり、生まれ育った徳島県に貢献できる仕事をしたいと考えたりしていたことが、きっかけになり受験しました。

【この合格体験記のタイトル】

諦めなければ努力は必ず報われる。

【今回の最終合格・内定の決め手】

民間の就活と併願せず、コロナ禍で試験が延期になって不安なことがあっても、諦めず気を緩めず、勉強を続けたことだと思います。

【これから受験される方へアドバイス】

試験科目が多く範囲も広いので、途中で諦めそうになったり、気が緩んだりしてしまうかもしれませんが、自分を信じて最後まで諦めないで頑張ってください。

【最後に一言】

TACに入った時期は早かったのですが、なかなか勉強に対しやる気になれず、秋頃から本格的に始めてしまったことに、もう少し早く取りかかれば良かったと後悔しています。ですが、スタートが遅かった分、人一倍努力しようとした結果、合格することができ本当に嬉しかったです。

努力は必ず報われると信じ、諦めずに頑張って良かったです！